

■色分けは各地区版エリア



# 地域

- 新潟 マイボトルでごみ減量
- 新潟ワイド 意気込む女子野球部員
- 下越 商議所移転計画が白紙

- 佐渡 進まぬ図書館再編計画
- 長岡 与板地域に交流の拠点
- 中越 マンション住民と懇談

- 県央 燕の空き家1044軒確認
  - 上越 糸魚川で農具など展示
- 14~17面 ■「うぶ声、おくやみ」27面

## Niigata News Network



真野湾を間近に見下ろす、佐渡市真野地区の小高い丘の上に木造の旧西三川小学校は立っている。山や川、田んぼ、果樹園などあらゆる自然に囲まれ、校区内には、佐渡金銀山遺跡群の中でも最古の歴史を持つ西三川砂金山がある。近くの川で砂金が採れたことが校歌でも歌われていた。

1873年に開校し、多い時には200人以上が通った。海での水泳授業や釣り大会、砂金が採れた山への遠足、リンゴ



### 西三川小学校(佐渡市)

## 海見下ろす美しい眺望

自然に囲まれた旧西三川小学校。来年、酒造り体験施設に生まれ変わる。佐渡市西三川

園での花摘み体験など、周りの大自然は生きた教材となり、子どもたちの学習を支えた。

登下校も貴重な学びの時間だった。卒業生の佐々木康孝さん(72)は「時季によって野イチゴとかクワの実とか、採って食べるのが楽しみでね。みんなで道草しながら季節を感じていたよ」と懐かしむ。

西三川の笹川集落には笹川分校があった。2010年、28人(分校は4人)を最後に閉校し、真野小学校に統合された。島では当時、唯一の分校だった。

校舎は現在、真野地区の尾畑酒造が市から借り受け、酒造り体験施設にしようと呼びかけを進めている。同社の平島健社長(48)は卒業生ではないが、「眺めも良く、閉校と聞き、もったいないと思った。かつての学校のよう(に)酒造りを学ぶために人が集う拠点にした」と力を込める。

外観など、かつて学校だった雰囲気を残し、来年5月のオープンを目指している。

岩にくだける 荒波のしぶきにぬれて 色冴える 素朴で強い 磯松のいのちをわれらが意志として 毎日 勉強いたしましょう みんな仲よく手をとりあって 平和日本をつくるのだ

空の青さが 溶けこんで 玉をころがす 清流に 昔 こがねの花咲いた 資源の歴史 思い出したゆまず 勉強いたしましょう みんな仲よく手をとりあって 文化日本をきずくのだ

作詞・庵原 健  
作曲・小出 浩平